



俳句

玉井北男 選

朝明けの山門入れれば百日紅さるすべり
 朝顔を愛でて始まる一日なり
 銀色の強き秋刀魚のならばけり
 百選の水贅沢に散水す
 照り返す石累累るると夏の川
 遠隔の曾孫に見せたや夏祭り
 天高し大時計鳴るゲーテ邸
 離陸してふるさと遠き雲の峰

川柳

金子一孝 選

畔に草増えて兄貴も年老いた
 盆踊り浴衣うちわを背に揃え
 何をしに来たか忘れて元の部屋
 紆余曲折なじみの街が変りゆく
 老いてなお二人の趣味を探そうか

真鍋正利
 神尾禮子
 近藤忠夫
 三谷福美
 今井マサコ
 越智幸子
 曾我部みち子
 藤原真佐美

短歌

田坂幸 選

ベビーカーに二人を乗せて腕に一人小柄な母の思はぬ強さ
 山本昇
 自転車の前と後に山と積む荷にやかん揺れ遍路過ぎ行く
 池内祥子
 狂ほしき豪雨と酷暑に見舞はれし今年の夏にも宵待草咲く
 宇高房恵
 小魚の南蛮漬と冷汁で昼餉をすます猛暑の今日は
 佐竹美智子
 雨上がり灰色の空に一筋の夕明かり見ゆ明日は晴天
 藤崎泉
 畦道に咲ける薊の花の色幼き日々の思ひ出誘ふ
 森田広司
 九十五の母に「ガンバレ」言うよりも褒める言葉をかかっています
 村上弥生
 温みまだかすかに残る君の手よ永久とこの別れの言の葉もなし
 越智幸子

俳句・川柳・短歌 作品募集

■俳句・川柳・短歌 作品募集
 作品は、読みやすい書体（楷書等）で作成し、俳句・川柳・短歌の別を書き、漢字にはふりがなを振り、住所・氏名・電話番号を明記し、毎月1日までに担当課へ郵送・持参してください。

応募先
 〒793-8601 明屋敷164
 西条市役所 広報広聴課 広報係
 TEL 0897-52-1204 (直通)

Your Friendly Neighbors

世界のゆかいな仲間たち

No.98 日本にいるあいだに

来日して1カ月間は東京で研修を受け、ごみの捨て方やシャワーや電気製品の使い方、食事のマナー等について学びました。箸の使い方より難しかったのは、麺を音を立てて吸いながら食べることでした。

一番大変だったのは、1日5回のイスラム教のお祈りの時間でしたが、会社の方の理解もあり、休み時間に行えました。また、イスラムの教えでは、8月に約1カ月、日の出から日没まで、断食します。これは、神への信仰心を示し、困っている人や貧しくて食事が満足にできない人の気持ちを理解するためです。就業時は、熱中症の危険もあり、会社の方へ心配をかけない程度に、また仕事に支障が出ないように配慮しました。私の国の文化や習慣を認めてくださった方々に、心から感謝します。

最後になりましたが、新鮮な野菜や果物をくださった柴田さん、マテ貝採りや映画に連れて行ってくださった赤塚さん、インドネシアでは絶対に出来ないスノーボードを教えてくださいました。ありがとうございました。



▲浅川造船(株)勤務
 技能実習生
 スルヤ・リヤントさん